

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成23年11月14日

【四半期会計期間】 第73期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 林兼産業株式会社

【英訳名】 Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 橋本 鉄志

【本店の所在の場所】 山口県下関市大和町二丁目4番8号

【電話番号】 下関(083)266-0214

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理部長 宮崎 一郎

【最寄りの連絡場所】 山口県下関市大和町二丁目4番8号

【電話番号】 下関(083)266-0214

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理部長 宮崎 一郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第72期 第2四半期 連結累計期間	第73期 第2四半期 連結累計期間	第72期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	25,839,791	24,684,401	51,433,128
経常利益	(千円)	89,239	205,917	185,761
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失()	(千円)	53,550	128,769	289,638
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	176,865	224,236	455,409
純資産額	(千円)	5,176,368	5,099,335	4,884,025
総資産額	(千円)	31,030,393	29,432,293	27,506,455
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期(当期) 純損失金額()	(円)	0.60	1.45	3.25
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	15.1	15.7	16.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	754,506	57,945	230,469
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	97,060	204,491	133,448
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	955,740	522,490	298,664
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,015,298	2,105,860	1,845,977

回次		第72期 第2四半期 連結会計期間	第73期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金 額()	(円)	0.43	1.11

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第73期第2四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため、第72期第2四半期連結累計期間及び第72期は1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 第72期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響により、企業業績の回復基調は鈍り、雇用・所得情勢の持ち直しの動きは緩やかになりました。食品業界におきましては、個人消費が低調に推移するなか、食の安全・安心を脅かす食中毒事件や、原発事故による放射性セシウム問題が発生するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか当社グループは、中期経営計画「プラス2012」（平成22年3月期～平成24年3月期）に掲げた重点戦略、事業別戦略を推進し、収益力と企業体質の強化に取り組んでまいりました。

また、当社は既存事業の収益構造の改善を図るとともに、今後の成長への布石として、当社の技術力を生かした新たな市場の開拓を進めてまいりました。その一環として、マレーシア国内および他のイスラム圏向けにハラル食品事業を展開することとし、同国の食品製造会社と現地合弁会社「OMAKANE SDN. BHD.」を設立して、当第3四半期連結会計期間より事業を開始することといたしました。ハラル食品は、加工や調理に関する厳格なイスラム法の作法が遵守された食品であり、今後の市場の拡大が見込まれます。現在、常温流通可能なソーセージが普及していないマレーシア市場などを視野に、当社の魚肉ソーセージの製造技術を生かして新たな市場の創出を図ってまいります。

飼料事業におきましても、配合飼料によるマグロ養殖の実現に向けた事業展開を進めており、先発の成魚用ソーセージ型飼料「ツナ・フード」に続き、8月、稚魚用飼料「ツナッコ」の製造販売を開始し、稚魚から成魚までの配合飼料一貫給餌の態勢を整えました。マグロ養殖で使用される従来の生餌に比べてコスト削減や労力の軽減を図ることができ、今後のマグロ完全養殖の事業化に大きく貢献することができます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前連結会計年度における連結子会社の減少による減収や、畜産用飼料および水産物の販売数量の減少により246億84百万円（前年同期比4.5%減少）となりました。損益面におきましては、魚肉ねり製品の販売単価の下落や食肉加工品原料の値上がりなどがあったものの、養魚用飼料の主原料である魚粉価格が安定的に推移したことなどにより飼料事業の収益が改善し、営業利益2億1百万円（前年同期比89.2%増加）、経常利益2億5百万円（前年同期比130.7%増加）となりました。四半期純利益は、特別損失が減少したこともあり1億28百万円（前年同期は53百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、消費者の低価格志向により価格競争が激しくなるなか、消費低迷を反映して国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、販売単価の下落はあったものの、主力製品であるMソーセージを中心に販売数量を伸ばしたことで、増収となりました。

機能性食品におきましては、健康食品市場において血管疾患など生活習慣病の分野が注目されるなか、血管機能の向上などが期待される機能性食品素材カツオエラスチンや、高齢者向けソフト食「ソフミート」について、展示会などを通じ拡販に努めた結果、増収となりました。

水産調理食品におきましては、連結子会社の減少により、減収となりました。

これらにより、売上高は26億53百万円（前年同期比28.7%減少）、営業利益は97百万円（前年同期比44.2%減少）となりました。

畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、輸入加工品の減少もあり、国内生産量は増加いたしました。こうしたなか、新規取引先の開拓に努めた結果、販売数量が堅調に推移したことで、増収となりました。

肉類におきましては、消費低迷と肉牛の放射性セシウム検出の影響により、豚肉、牛肉ともに国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、当社は牛肉の取り扱いを減少したものの、豚肉相場の回復を背景に自社ブランド「霧島黒豚」を中心とした豚肉の拡販に努め、増収となりました。

調理食品におきましては、業務用具材などの拡販に努めたことで販売数量を伸ばし、増収となりました。

これらにより、売上高は91億32百万円（前年同期比0.8%増加）となったものの、食肉加工品原料の値上がりもあり、営業利益は69百万円（前年同期比63.8%減少）となりました。

飼料事業

養魚用飼料におきましては、震災・津波による養殖魚の在池量減少や、魚価低迷、低水温の影響もあり、国内生産量は前年を下回りました。こうしたなか、ハマチ用、タイ用E P飼料の拡販と既存取引先への取り組み強化に努め、増収となりました。

水産物におきましては、魚価低迷により活魚の取り扱い量を減らしたことにより、減収となりました。

畜産用飼料におきましては、配合飼料価格が値上がりするなか、国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、当社はプロイラー用などの販売数量の減少により、減収となりました。

畜産物におきましては、鶏肉「赤鶏さつま」を中心とした販売に取り組んだ結果、鶏肉の販売数量の増加と相場回復により、増収となりました。

これらにより、売上高は118億41百万円（前年同期比0.3%減少）となったものの、主原料価格が安定的に推移したことにより、営業利益は5億30百万円（前年同期比86.2%増加）となりました。

その他

その他の売上高は10億57百万円（前年同期比10.7%減少）となったものの、営業利益は95百万円（前年同期比13.3%増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間の資産合計は294億32百万円となり、前連結会計年度に比べ19億25百万円の増加となりました。

流動資産の増加（前期末比14億40百万円増加）は、主に受取手形及び売掛金が11億79百万円、現金及び預金が1億51百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の増加（前期末比4億85百万円増加）は、主に破産更生債権等が4億41百万円増加したことなどによるものです。

(負債及び純資産)

当第2四半期連結会計期間の負債合計は243億32百万円となり、前連結会計年度に比べ17億10百万円の増加となりました。

流動負債の増加（前期末比6億13百万円増加）は、主に短期借入金が5億1百万円減少したものの、買掛金が6億78百万円増加したことや、その他（未払金）が1億60百万円増加したことなどによるものです。

固定負債の増加（前期末比10億96百万円増加）は、主に長期借入金が10億15百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における純資産合計は50億99百万円となり、前連結会計年度に比べ2億15百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益1億28百万円を計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は15.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローは減少したものの、財務活動によるキャッシュ・フローの増加により、前連結会計年度末に比べ2億59百万円増加の21億5百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は57百万円（前年同期は7億54百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の増加が8億51百万円、減価償却費の計上が3億48百万円あったものの、売上債権の増加が16億4百万円あったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は2億4百万円（前年同期は97百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が2億20百万円あったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は5億22百万円（前年同期は9億55百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が10億45百万円あったものの、長期借入れによる収入が19億69百万円あったことなどによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありませぬ。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億66百万円です。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	89,100,000	89,100,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株です。
計	89,100,000	89,100,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		89,100		4,455,000		797,309

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
中部 緑	山口県下関市	7,274	8.16
株式会社マルハニチロホールディングス	東京都江東区豊洲三丁目2番20号	5,659	6.35
財団法人中部財団	山口県下関市大和町二丁目4番8号	4,032	4.52
三井物産株式会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区大手町一丁目2番1号 (東京都中央区晴海一丁目8番12号)	3,753	4.21
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	3,187	3.57
株式会社十八銀行	長崎県長崎市銅座町1番11号	2,530	2.83
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿一丁目26番1号	2,208	2.47
株式会社山口銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	山口県下関市竹崎町四丁目2番36号 (東京都中央区晴海一丁目8番12号)	1,574	1.76
三菱UFJ信託銀行株式会社 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 (東京都港区浜松町二丁目11番3号)	1,298	1.45
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番10号	1,165	1.30
計		32,680	36.67

(注) 財団法人中部財団は、当社元会長故中部利三郎氏の遺志により、主として当社株式を基本財産とし、山口県内における食品等の開発援助および社会福祉事業の助成等を目的として設立された法人です。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 56,000 (相互保有株式) 普通株式 10,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 88,854,000	88,853	
単元未満株式	普通株式 180,000		1 単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	89,100,000		
総株主の議決権		88,853	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式4,000株(議決権4個)が含まれております。
- 2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的には所有していない株式1,000株が含まれております。なお、当該株式については、議決権の数には含まれておりません。
- 3 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式643株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 林兼産業株式会社	山口県下関市大和町 二丁目4番8号	56,000		56,000	0.06
(相互保有株式) 株式会社みなと	山口県下関市大和町 一丁目12番6号	10,000		10,000	0.01
計		66,000		66,000	0.07

- (注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的には所有していない株式1,000株があります。なお、当該株式は「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人大手門会計事務所により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,404,935	2,556,475
受取手形及び売掛金	5,471,723	6,650,884
商品及び製品	1,873,427	1,853,925
仕掛品	1,586,422	1,484,514
原材料及び貯蔵品	1,176,594	1,303,150
その他	200,375	334,370
貸倒引当金	126,390	155,827
流動資産合計	12,587,088	14,027,493
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,173,496	3,098,613
土地	4,659,672	4,672,501
その他(純額)	2,724,509	2,683,000
有形固定資産合計	10,557,678	10,454,115
無形固定資産	50,597	59,163
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,668,133	3,109,242
その他	2,798,320	2,933,287
貸倒引当金	1,155,363	1,151,007
投資その他の資産合計	4,311,090	4,891,521
固定資産合計	14,919,367	15,404,800
資産合計	27,506,455	29,432,293
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,851,947	3,530,270
短期借入金	11,790,501	11,289,054
未払法人税等	38,955	65,563
賞与引当金	274,534	373,667
その他	1,389,384	1,700,699
流動負債合計	16,345,323	16,959,255
固定負債		
長期借入金	3,815,501	4,831,331
退職給付引当金	1,494,709	1,562,165
資産除去債務	5,425	5,483
その他	961,470	974,722
固定負債合計	6,277,106	7,373,702
負債合計	22,622,430	24,332,957

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,455,000	4,455,000
資本剰余金	797,309	797,309
利益剰余金	938,727	809,957
自己株式	6,254	6,254
株主資本合計	4,307,327	4,436,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,071	170,893
その他の包括利益累計額合計	107,071	170,893
少数株主持分	469,626	492,344
純資産合計	4,884,025	5,099,335
負債純資産合計	27,506,455	29,432,293

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	25,839,791	24,684,401
売上原価	22,288,644	21,104,034
売上総利益	3,551,146	3,580,367
販売費及び一般管理費	3,444,584	3,378,730
営業利益	106,561	201,636
営業外収益		
受取配当金	46,906	43,281
設備賃貸料	51,814	51,688
その他	120,636	115,261
営業外収益合計	219,357	210,231
営業外費用		
支払利息	190,258	169,294
その他	46,420	36,655
営業外費用合計	236,678	205,950
経常利益	89,239	205,917
特別利益		
受取保険金	2,221	1,485
その他	926	189
特別利益合計	3,148	1,674
特別損失		
固定資産廃棄損	25,417	1,348
減損損失	1,389	4,571
その他	41,899	-
特別損失合計	68,705	5,919
税金等調整前四半期純利益	23,682	201,672
法人税、住民税及び事業税	70,667	52,105
法人税等調整額	11,083	4,005
法人税等合計	81,751	48,100
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	58,069	153,572
少数株主利益又は少数株主損失()	4,519	24,802
四半期純利益又は四半期純損失()	53,550	128,769

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	58,069	153,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,775	70,679
持分法適用会社に対する持分相当額	20	16
その他の包括利益合計	118,796	70,663
四半期包括利益	176,865	224,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,135	192,591
少数株主に係る四半期包括利益	9,730	31,644

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,682	201,672
減価償却費	380,718	348,902
減損損失	1,389	4,571
持分法による投資損益(は益)	28,745	20,862
有形固定資産廃棄損	25,417	1,348
貸倒引当金の増減額(は減少)	68,685	25,081
賞与引当金の増減額(は減少)	190,341	99,132
退職給付引当金の増減額(は減少)	65,570	67,455
受取利息及び受取配当金	48,581	44,639
支払利息	190,258	169,294
売上債権の増減額(は増加)	1,468,623	1,604,025
たな卸資産の増減額(は増加)	730,417	5,145
仕入債務の増減額(は減少)	976,647	851,027
未払消費税等の増減額(は減少)	71,041	52,534
その他	11,424	61,504
小計	544,414	84,842
利息及び配当金の受取額	48,581	46,139
利息の支払額	190,522	168,468
法人税等の支払額	68,150	20,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	754,506	57,945
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	401,302	265,934
定期預金の払戻による収入	536,200	275,000
有形固定資産の取得による支出	219,870	220,671
無形固定資産の取得による支出	4,113	16,478
投資有価証券の取得による支出	2,942	2,769
その他	5,031	26,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	97,060	204,491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	651,000	310,000
長期借入れによる収入	1,419,800	1,969,574
長期借入金の返済による支出	1,038,560	1,045,914
リース債務の返済による支出	67,262	82,249
少数株主への配当金の支払額	9,150	8,920
その他	87	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	955,740	522,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	171
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	104,139	259,882
現金及び現金同等物の期首残高	1,911,158	1,845,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,015,298	2,105,860

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
赤鷄農業協同組合	196,880千円	赤鷄農業協同組合	184,568千円
小豆屋水産㈱	100,000	小豆屋水産㈱	100,000
志布志飼料㈱	84,492	志布志飼料㈱	83,768
計	381,372		368,336

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
貸倒引当金繰入額	31,734千円	28,650千円
賞与引当金繰入額	211,159	167,321
退職給付費用	101,999	98,557
発送・配達費	760,703	737,983

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
現金及び預金	2,297,732千円	2,556,475千円
預入期間が3か月を超える定期預金	282,434	251,469
当座借越		199,146
現金及び現金同等物	2,015,298	2,105,860

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,721,334	9,061,368	11,872,885	24,655,588	1,184,202	25,839,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,552	48,242	711,434	813,228	219,765	1,032,994
計	3,774,886	9,109,611	12,584,319	25,468,817	1,403,968	26,872,785
セグメント利益	173,929	192,074	285,178	651,182	84,427	735,610

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	651,182
「その他」の区分の利益	84,427
セグメント間取引消去	6,847
全社費用(注)	635,896
四半期連結損益計算書の営業利益	106,561

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,653,191	9,132,744	11,841,112	23,627,048	1,057,353	24,684,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,367	57,751	716,741	780,861	208,706	989,567
計	2,659,559	9,190,495	12,557,854	24,407,910	1,266,059	25,673,969
セグメント利益	97,069	69,456	530,952	697,478	95,666	793,144

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	697,478
「その他」の区分の利益	95,666
セグメント間取引消去	454
全社費用(注)	591,962
四半期連結損益計算書の営業利益	201,636

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	60銭	1円45銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	53,550	128,769
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	53,550	128,769
普通株式の期中平均株式数(千株)	89,041	89,040

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、当第2四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため、前第2四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失が計上されており、また、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

林兼産業株式会社
取締役会 御中

監査法人 大手門会計事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 植木 暢 茂 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 武川 博 一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 裕 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている林兼産業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、林兼産業株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。